



### No.20 マイボートで海上釣堀り

ブリ、ヒラマサ、カンパチ、シマアジ、タイを釣ろう!

近年、海上釣堀りというフィッシングスポットが、瀬戸内や和歌山など多数にぎわっています。ブリなどの大物からソイやタイなど様々な魚種が釣れるという事で人気があり、最近では釣ったタイを別の天然の魚などと交換できるというサービスもあります。

今日は自然の釣りから離れて釣堀に行ってみようと思います。

### 海上釣り堀り実践編



#### 姫路市家島海上釣堀

**8:00** 釣り堀りスタート。仕掛けに小太エビを付けて投入。タナは大体4ヒロ半ぐらいにセットしアタリを待つ。釣り堀りは今まで数多く来ているので要領は心得ていますが、朝一は喰いがたっているのですぐにあたりがあるので、この時に他の人よりも1枚でも多くタイを釣り上げるのが勝負の分かれ目です。いかに手かえしが早いか、エサの準備が出来ているかにかかっています。

**9:00** 今日は喰いが悪いみたいで最初

1、2枚マダイを釣り上げると、ピタリと喰いが止まってしまった。イケスの中に魚はまだいるはずだが、音にビックリしたり、周りの魚が釣られるのをみてスレてしまったのだろうか。普段はこの時間帯で5、6枚釣り上げている事もしばしばだが…。

**9:30** ここからは作戦変更。まずはハリスを細くし、浮きをはずし、竿さきの

アタリをみて釣る方法に切り替えです。この方がいろんなタナをあたるし、微妙なアタリも取る事ができます。エサもエビから生ミックに変えて釣ります。朝のままの釣り具で継続している人は、なかなか釣る事が出来ませんが、私の方にはコンスタントにアタリがあります。アタリがあってもなかなかのらなかつたり喰いが悪いので、口の皮一枚にハリが引っ掛かっている場合が多いので、常に集中して慎重に釣り上げます。

**10:00** マダイが5枚上がったところで青物釣りに少し変更。ハリスは8号以上にし、エサは釣り堀りで販売している生きたアジ、もしくはイワシの切り身などを使用します。

今回は生きたアジを使用します。青物がアジに近寄って来るとアジが反応し、暴れるので釣れる時は分ります。アジが暴れまわった後に一気に仕掛けが入り込むので、その時に慌てずにしばらくアジを食わせといて合わせます。後は、回りの人に青物が走り回って仕掛けがお祭りにならないように上げてもらい、じっくりと青物の引きを楽しみながら、確実に自分の足元まで引き寄せてくるだけです。

**11:00** 途中、イケスへ追加で青物やタイを放流してくれます。その時がまたチャンスで、中で魚が動き回り喰い気がたつ時があります。青物を放流する時は青物を狙い、タイを放流する時はタイを狙うと釣果が上がるでしょう。

**12:00** ストップフィッシング。釣り堀りの時間は4時間で、釣った魚はすべて自分の物として持って帰れます。

私はマイボートで行きますが、マイボートで行く時は、必ずマイボートで行く事を釣り堀りに伝えてから行きましょう。全く釣れなかった人も3枚マダイは頂けるそうです。



【今日の釣果】 マダイ8枚 カンパチ3本